

インテリジェントウィルパワー

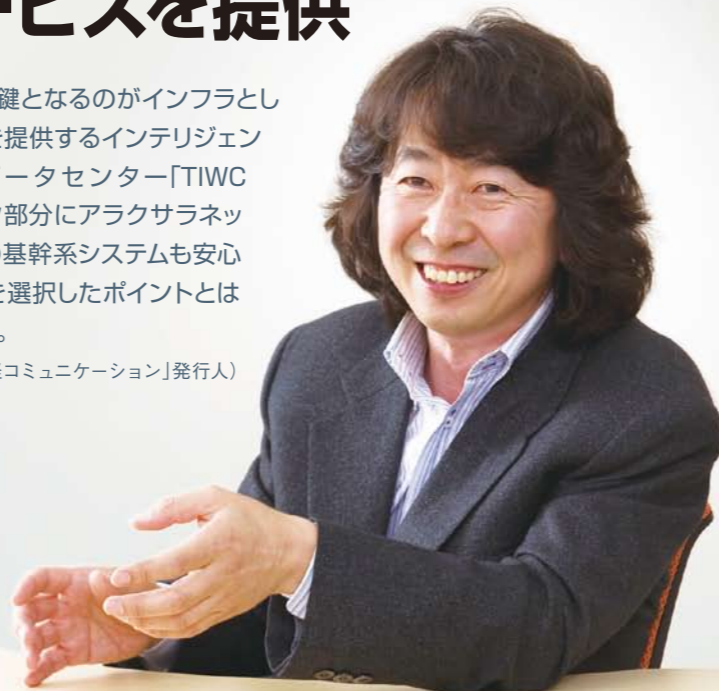
アラクサラのセキュア仮想ネットワークで
最先端のクラウドサービスを提供

ますます盛んになるクラウドビジネス——それを成功に導く鍵となるのがインフラとしてのネットワークだ。最先端のプライベートクラウドサービスを提供するインテリジェントウィルパワー株式会社(以下、TIWC)は、バーチャルデータセンター「TIWC Cloudbase」の構築にあたって、その基盤となるネットワーク部分にアラクサラネットワークス(以下、アラクサラ)の「AXシリーズ」を採用。企業の基幹系システムも安心して載せられるIaaSを作り上げた。TIWCがアラクサラ製品を選択したポイントとは何か。TIWCの代表取締役会長である吉村 伸氏に話を聞いた。

聞き手：桔梗原 富夫(「日経コミュニケーション」発行人)

インテリジェントウィルパワー株式会社
代表取締役会長

吉村 伸氏

仮想化で迅速な立ち上げと
容易なオペレーションを実現

——TIWC創立から約1年が過ぎ、クラウドサービス「TIWC Cloudbase」のサービスにも間近と聞きます。まず、このクラウドの特長についてお聞かせください。
吉村 弊社は、TIWC Cloudbaseをバーチャルなデータセンターに位置付けています。従来のデータセンター利用は、サーバーの機材を選定し、見積もりを取り、発注し、納品されるのを待ち、それからサーバーをラックに積み上げてネットワークに接続し、OSやアプリケーションをインストールするという流れでした。これを仮想化することによって、迅速な立

ち上げと容易なオペレーションを実現したのがCloudbaseです。また、ユーザーにとつての親しみやすさと使いやすさを考えて、「見た目」はこれまでのやり方に近いイメージにしました。

——クラウドの一般的な分類では、CloudbaseはIaaSになるのでしょうか。

吉村 SaaS/PaaS/IaaSをどのように定義するかにもよりますが、Cloudbaseはインフラストラクチャーを狙っていますから、IaaSということになるでしょう。もっとも、PaaSやSaaSも部分的にはやっています。

——Cloudbaseの開発では何を重視されましたか。

吉村 Webベースのサービスだけでな

く、企業内で使われている基幹系システムやデスクトップアプリケーションも載せられることを重視しました。その際の鍵となるのは「ネットワークである」というのが、我々の考えです。従来はローカル側でやっていたことを広域ネットワーク上で実現するわけですから、ネットワー

管理ツールのサーバー設定画面

左側のシステム基盤(オレンジ色の部分)に右側からCPUやメモリなどのアイコンをドラッグ&ドロップして設定する



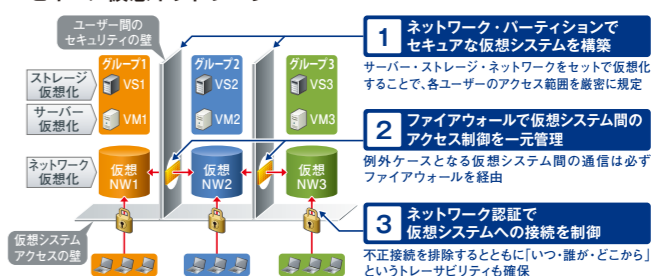
クラウドサービス「TIWC Cloudbase」を支える「セキュア仮想ネットワーク」

TIWC Cloudbaseでは、高度なセキュリティを確保できるアラクサラネットワークスの「セキュア仮想ネットワーク」が使われている。ネットワーク・パーティションという機能によってサーバーやストレージと同様にネットワークも仮想化し、ユーザーのアクセス範囲を規定する。これによってセキュアな仮想システムを構築できる。



アラクサラの10ギガビットスイッチ
「AX6700Sシリーズ」

セキュア仮想ネットワーク



く仮想化やマルチテナント対応のセキュリティ対策など、難易度ははるかに高くなります。

高いパフォーマンスと
強力な管理ツールが魅力

——そうすると、ネットワーク機器を選定する際の判断材料も従来とは異なるものになります。

吉村 選定にあたっては、二つのことを重視しました。まず、基礎的な部分のパフォーマンスが十分に高いこと。ソフトウェアの脆弱性を突くアタックは大量の packets で処理を混乱させる手口をよく使いますので、IPを取り扱うレイヤ3やレイヤ2がしっかりしたものであることが非常に重要なポイントになります。また、複数テナントに複数サーバーを貸し出すサービスなので、サーバーやスト

レージと同様、ネットワーク機器にもテナントごとにパーティショニングできる機能が求められます。このような要件を基にいくつかの製品を評価した結果、アラクサラの「AXシリーズ」を採用することにしました。AXシリーズの「セキュア仮想ネットワーク」というコンセプトは、我々がやりたいことにピッタリのソリューションでした。

——従来のデータセンターの運営方法に似た雰囲気を出すには、運用管理面での工夫も必要です。

吉村 はい。そのために、Webベースの管理ツールを独自に開発しました。トップ画面はラックにサーバーが積まれたデザインになっていて、個々のサーバーをクリックすると詳細な管理画面が表示されます。また、サーバーを新設したり構成を変更したりする際は、CPU、メモ

リ、ストレージ、NICの各アイコンをドラッグ&ドロップするだけです。NICへの回線/IPアドレス割り当ても、線を引っ張るだけの操作でできます。この管理ツールではネットワーク機器の構成も変更できるようにする予定で、ソフトウェアから装置を制御するアプリケーションインタフェースとして「Open Networking - API」があることもAXシリーズの魅力です。

セキュリティ対策を追求し
管理・設定作業のさらなる自動化も

——今後の機能拡張や展望についてお話しください。

吉村 管理や設定をするためのツールは一通りそろったので、今後は、作業の自動化にも力を注いでいこうと考えています。また、セキュリティ対策についても、セキュリティソフトウェアに全て任せてしまうのではなく、ネットワーク側でできることがあるのではと考えています。当面はシステムインテグレータに卸すビジネスモデルに徹するつもりですが、ある程度大量の台数をお持ちの企業には直接提供することも考えています。

——本日はありがとうございました。A

アラクサラネットワークスの理念

「The Guaranteed Network～いちばん近くで、もっと先へ。」

アラクサラネットワークスは、先進の情報通信テクノロジーにより、快適なビジネスインフラを創造し、安心と安全を支えるネットワークの進化を追求します。お客様を思うところ

で、クリエイティブソリューションを共創し、ビジネス進化を支援しつづけます。世界のお客様との絆を深め、ビジネスの価値を最大限に高めることに貢献します。